

社会復帰期クリティカルパス (イメージ)

本人の目安	1~6週目 (通算 49~54週) 健康で安全な生活をイメージできる 服薬の自己管理ができる 他人の痛みがわかる	7~12週目 (通算 55~60週) 家族や援助者との関係を考える 病状の再発の兆候を理解する 援助の求め方がわかる	13~14週目 (通算 61~62週) 社会資源を使ってみる 退院先に行ってみる 地域の関係者と知り合う	15~19週目 (通算 63~67週) 退院先での生活に慣れる 地域の関係者となじむ 退院後の生活を計画する	20~24週目 (通算 68~72週) 社会生活に自信をもつ 退院に向けた具体的な準備をする
評価・治療検討	基本評価の見直し、社会復帰期治療方針の決定、改善度評価・外泊の可能性評価、治療プログラムの選定及び実施、薬物療法の評価 本人家族への病状及び治療計画の説明 診察は週2回	薬物療法の維持療法への移行、評価、副作用のチェック 症状改善の評価及び治療内容の見直し、外泊に伴う変化に対応 治療プログラム (個別精神療法・集団精神療法・心理療法) の実施 家族面接 (外泊評価)	外泊の実施 症状改善の評価及び治療内容の見直し、外泊に伴う変化に対応 治療プログラム (個別精神療法・集団精神療法・心理療法) の実施 家族面接 (外泊評価)	外泊に伴う変化に対応、薬物療法の評価、退院後活用する社会資源について情報交換 退院申請報告書の作成 リスクアセスメント 裁判所への退院の申し立て	社会復帰調整官との退院後処遇について情報交換 退院後指定通院医療機関との情報交換 退院申請報告書の作成 リスクアセスメント 裁判所への退院の申し立て
検査	血液検査 1/月 ECG 1/3月	血液検査 1/月 ECG 1/3月	血液検査 1/月 ECG 1/3月	血液検査 1/月 ECG 1/3月	血液検査 1/月 ECG 1/3月
心理検査	心理検査・病識尺度評価	自尊自己効力感アセスメント	心理検査 (退院準備)	病識尺度評価	病識尺度評価
多職種チーム	外泊に向けた準備及び外泊プログラムの検討 社会復帰ミーティングの実施	病識の確認、生活技能と評価、社会復帰施設等の訪問に同伴する	試験外泊に同伴、社会生活上の問題の洗い出しと治療プログラムの再検討	社会復帰調整官及び通院医療機関等との情報交換 家族の受け入れ状況の確認	社会生活上の問題克服について評価し退院可能性について検討
看護活動	言語的コミュニケーションによる表現の能力回復に基づく人間関係の改善、日常生活に自立に向けた援助 服薬の自己管理の評価及び指導 看護面接・看護ケア計画の作成 社会生活について自己管理する体験 職業適性検査 (内)	外泊準備及び外泊に対する不安への対応、多様な治療プログラムへの導入と観察及びプログラム後の個別フォロー 看護面接・看護ケア計画の作成 就労準備作業 職業適性検査 (外)	試験外泊に同伴し、課題の洗い出しを行う 課題への対応をチームで検討具 体策を明示する 看護面接・看護ケア計画の作成 退院に向けた生活能力のアセスメントと課題の確認	外泊時訪問観察を行い、日常生活維持可能性について評価する 退院後の生活について本人ニーズの確認 看護面接・看護ケア計画の作成 生活能力に応じた課題の解決	服薬状況の確認、身体状況の確認 通院医療機関への情報提供 (サマリ) の作成 外泊時訪問観察により課題の洗い出しと具体的対応策の明示 退院に向けた準備、不安への対応 具体的な生活に向けた安心感の提供
作業療法	社会生活について自己管理する体験 職業適性検査 (内)	看護面接・看護ケア計画の作成 就労準備作業 職業適性検査 (外)	看護面接・看護ケア計画の作成 退院に向けた生活能力のアセスメントと課題の確認	看護面接・看護ケア計画の作成 生活能力に応じた課題の解決	服薬状況の確認、身体状況の確認 通院医療機関への情報提供 (サマリ) の作成 外泊時訪問観察により課題の洗い出しと具体的対応策の明示 退院に向けた準備、不安への対応 具体的な生活に向けた安心感の提供
社会復帰講座	法律・制度・資源活用	→	→	→	→
精神療法	社会の中で自分らしく生きるためのイメージを理解する 病状の再発の危険サインを理解する	社会の中で自分らしく生きるためのイメージを学ぶ 対処法を学ぶ	社会の中で自分らしく生きるためのイメージに出会う	適応を促す	→
認知行動療法	病状再発の危険サインの認識、対処行動の活用、適応の促進 将来起こるかもしれない問題への対処の仕方学ぶ、適切な社会的スキルを身につける	→	→	→	→
レクリエーション	毎週実施 (週2回定例)	→	→	→	→
全体ミーティング	毎週実施 (週1回定例)	→	→	→	→
ソーシャルワーク業務	家族・関係者の調整 外泊に備え福祉施設等に同伴見 学する	家族に外泊指導を行う 外泊プログラムの作成し、社会復帰調整官と協議する 外出に同伴し通院医療機関等訪問する	退院受け入れに向けた家族調整 の為に対象者ニーズを確認する 外泊に同伴し、退院後の生活に向けた情報収集を行う	家族・関係者の調整生活能力に 応じ社会資源活用に関する課題を 解決する。 社会復帰調整官が作成する処遇 の実施計画作成への援助	家族・関係者の調整 退院に向けての社会生活・経済上 の諸問題について解決を援助す る。 →